

関西大学堺キャンパス すこやか教養講座（第 3 期）

現代社会において、すこやか（健やか）で豊かに生きていくためには、教養が不可欠です。そこで、関西大学人間健康学部は堺市と連携して、市民の皆さんに「すこやか」な日々を送って頂くために、第 3 期の教養講座を開催します。各分野のトップランナーの講師陣が、現代の教養を分かりやすくお話しします。

第 1 回 9 月 10 日（土）14：00～15：30

日本人と立身出世主義



関西大学人間健康学部長 竹内 洋

「仰げば尊し」は、明治時代から津々浦々の小学校で歌われた。そこに「身を立て名をあげ」とあるように、明治以後の日本人を煽った主義のひとつが立身出世主義だった。立身出世主義とは何であり、何を帰結したのか。

第 2 回 9 月 24 日（土）14：00～15：30

京都・祇園祭の謎



国際日本文化研究センター教授 白幡 洋三郎

お祭りと言えば、ご神体や威勢のいい御神輿（みこし）担ぎが付きものだが、祇園祭はどうしておっとりした山鉦巡行が中心なのか。神様の護衛にあたるはずの山鉦が、なぜきらびやかな行列の主役になっているのか。祇園祭の誤解と謎解きのお話。

第 3 回 10 月 15 日（土）14：00～15：30

老化、老人病、認知症を理解する



関西大学人間健康学部教授 黒田 研二

長寿社会の進展とともに、幸福な老いへの関心が高まっています。だが老いそのものを避けることは誰にもできません。老い、老人病、認知症は長寿社会にとって避けられないこと。だったら、それをどう受け止めたら幸福になれるかを考えてみましょう。

第 4 回 10 月 22 日（土）14：00～15：30

スポーツは地域の生活に貢献できるかー堺市での可能性を探る



関西大学人間健康学部教授 西山 哲郎

サッカー J リーグの発足以来、スポーツは地域生活に貢献できるものとして注目されてきました。古墳時代からの歴史と自治都市の伝統を誇る堺市ですが、大阪都構想などに揺れるその将来にスポーツがどう寄与できるか、一緒に考えませんか？

第 5 回 11 月 12 日（土）14：00～15：30

海を渡った椿



京都大学大学院人間・環境学研究科教授 川島 昭夫

椿は、オランダ東インド会社の医師として来日したケンペルが初めて西欧に紹介した。アジアの太平洋岸に自生するこの花木は、デュマの小説『椿姫』でも知られるように、19 世紀には西欧で人気を呼んだ。どのようにして海を渡ったのだろうか。

第 6 回 11 月 26 日（土）14：00～15：30

ちがっているから…



関西大学人間健康学部教授 杉本 厚夫

表題の「・・・」にあなたならどんな言葉が入りますか？個性教育と言われながら、どうしても、人とちがったことをすることに子どもたちは抵抗があるようです。子どもの社会から、多様化と画一化の問題について一緒に考えていきます。

場 所：関西大学堺キャンパス

南海電鉄高野線「浅香山」駅下車 徒歩 1 分

（自動車・バイクによる入構はできません。）

対 象：堺市民、関西大学学生、教職員、その他

参加費：無 料

※ 申込方法は裏面をご参照ください。

問合せ：関西大学堺キャンパスグループ

〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1

072-229-5022（代表）

http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/



講師プロフィール

第1回 竹内 洋（たけうち よう） 京都大学大学院教育学研究科研究科長・学部長などを経て現職。 専門は歴史社会学、教育社会学。96年に「日本のメリトクラシー」（東京大学出版会）で第39回日経経済図書文化賞を受賞。『教養主義の没落』（中公新書）ほか。	第2回 白幡 洋三郎（しらはた ようざぶろう） 京都大学助手などを経て現職。専攻は比較文化。都市文化の研究、とくに目に見える形をもつ文化全般について、日本・ヨーロッパ・アジアの比較研究に関心がある。主要著書に『近代都市公園史の研究』『花見と桜』『知らなきゃ恥ずかしい日本文化』など。
第3回 黒田 研二（くろだ けんじ） 大阪大学、大阪府立大学を経て現職。専門は老人福祉、地域保健、精神医学。医師として臨床、公衆衛生、福祉の領域で実践的研究を行ってきた。府医師会介護・高齢者福祉委員会委員長など。著書『学生のための医療概論』（医学書院）ほか。	第4回 西山 哲郎（にしやま てつろう） 大阪大学、中京大学を経て現職。専門は文化社会学、スポーツ社会学。著書に『近代スポーツ文化とはなにか』世界思想社、編著に『市民学の挑戦』梓出版社、『トヨティズムを生きる』せりか書房など。日本スポーツ社会学会理事。
第5回 川島 昭夫（かわしま あきお） 京都大学大学院修了。神戸市外国語大学、京都大学教養部をへて現職。専門はイギリス近代の科学史、文化史、社会史、生活史。特に、植物をめぐる人びとの活動を、さまざまな角度から考察する。著書に『植物と市民の文化』（山川出版社）など。	第6回 杉本 厚夫（すぎもと あつお） 広島大学、京都教育大学を経て現職。専門はスポーツ社会学、臨床社会学、子ども文化論。実際に、子どもたちとキャンプをしたり、遊んだりして実践的な研究を行っている。『「かくれんぼ」ができない子どもたち』（ミネルヴァ書房）ほか。

（申込方法）

FAXまたはハガキにて、①郵便番号・住所②お名前・ふりがな③電話番号④希望される講座の開催日をご記入の上、締切日必着でお送りください。複数の講座を一括でお申し込みいただいても結構です。

講座開催の3日前までに聴講券を送付いたしますので、当日ご持参ください。

（定員）150名。応募者多数の場合は、抽選にて決定。当選者・落選者ともに通知いたします。

（宛先）関西大学堺キャンパス「すこやか教養講座」係

（FAX）072-229-5082 （住所）〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-11-1

FAX 送信用紙 関西大学堺キャンパス すこやか教養講座（第3期）

住所 〒	—
ふりがな 氏名	電話番号 — —

参加	開催日	テーマ・講師	申込締切
☐	9月10日（土）	日本人と立身出世主義（竹内 洋）	締切済
☐	9月24日（土）	京都・祇園祭の謎（白幡 洋三郎）	締切済
☐	10月15日（土）	老化、老人病、認知症を理解する（黒田 研二）	9月30日（金）
☐	10月22日（土）	スポーツは地域の生活に貢献できるかー堺市での可能性を探る（西山 哲郎）	10月7日（金）
☐	11月12日（土）	海を渡った椿（川島 昭夫）	10月28日（金）
☐	11月26日（土）	ちがっているから…（杉本 厚夫）	11月11日（金）

参加を希望される日の「参加」欄に○をご記入ください。